

1. 件名：検査制度見直しに関する日本原燃株式会社等との面談

2. 日時：令和元年11月7日（木）15：05～16：10

3. 場所：原子力規制庁 13階会議室D

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

検査監督総括課 高橋課長補佐

核燃料施設等監視部門 熊谷統括監視指導官、二宮上席監視指導官、百瀬管理官
補佐、小野主任監視指導官、江田原子力運転検査官、関
主任監視指導官

日本原燃(株) 技術本部 輸送管理部 部長 他5名

原燃輸送(株) 輸送部 輸送グループ マネージャー

5. 要旨

(1) 原子力規制庁から、本年6月27日、7月2日、7月31日及び10月28日の面談を踏まえ、返還ガラス固化体の事業所外運搬に関する活動のうち、発送前検査に関して、日本原燃株式会社（以下「日本原燃」という。）の組織の中での独立性を確保する必要があることを説明し、日本原燃と意見交換を行った。

(2) 日本原燃から、発送前検査については、輸送全体を主管する部門ではない部門が検査を実施することとしていることから、検査の独立性は確保できると考えており、これを保安規定等で明確にするとの説明があった。原子力規制庁から、本日共有した状況を前提とするなら、具体的な記述は保安規定等の審査で確認することとし、本件に関する面談は一旦終了する旨を伝えた。なお、原子力規制庁から、事業者の自主的な活動として、発送前検査の信頼性をより高めるための活動を行うよう求めた。

6. 配布資料

なし